

大切な農作物をイノシシ被害から守るために

城里町内では、イノシシによる農作物への被害が拡大しています。特にこれから秋にかけての時期は、水稻、里芋、栗、さつまいもなどの収穫期を迎えるため、1年中で最も被害が多くなる時期になります。

ここでは、イノシシの習性或対策方法をご紹介しますので、早めに対策をとり、農作物の被害を防ぎましょう。

イノシシ対策その①

—イノシシが嫌がる環境づくりを心がける—

○イノシシのエサ場をなくそう

収穫しない野菜や果樹などは放置せず、ネットで農地を囲んだり、地中に埋設するなど適切に処理しましょう。



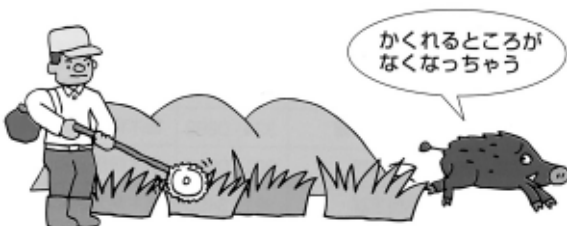
家庭から出た生ごみやくず野菜を堆肥がわりに農地に放置すると、イノシシのエサ場になってしまうことがあるため、コンポスト(※)などを利用して堆肥にしてから使いましょう。
※コンポスト…生ごみを急速に発酵させて堆肥化する容器



収穫の終わった田畑は早めに耕して、残菜をなくすようにしましょう。

○農地周辺のヤブ刈りをしよう

耕作放棄地や周辺のヤブは、イノシシにとって良い隠れ場所になってしまいます。草刈りなどをこまめに行いましょう。



「イノシシ」ってどんな動物？

日本に生息するイノシシは、体重が50～60kg程度。大きいものだと100kgを超える場合があります。



Q どのなところにいるの？

A イノシシは、人里からあまり遠く離れていない里山に生息しています。非常に警戒心が強い動物ですが、人間がいなければ、昼夜を問わず、エサを求めて田畑に出没します。

また、泥遊び(ヌタウチ)をして、体についた虫を取るため、湿地にも姿を現します。

Q どのなものを食べるの？

A 味が濃厚で甘みの強い物が大好きです。雑食性で、芋類や根茎、果物、昆虫の幼虫、ミミズ、ヘビ、サワガニなどなんでも食べます。また、乳熟期のイネも歯でじごくようにして食べます。

Q どのなことができるの？

A 「鼻を使って」…嗅覚が優れているため、土の中のタケノコなどを見つけて掘り起こすことができます。また、鼻を使って、50～60kgの重さの物を動かすことができます。

「運動能力」…①跳躍力/助走なしなら1m、よじ登ることができれば2mの高さを乗り越えます。

1歳未満の子イノシシでも、田畑を囲うのに用いられているトタン板の高さ(65cm)を飛び越えることができます。②柔軟性/とても柔軟で、20cmのすき間があれば、くぐりぬけることができます。

③泳力/藤井川ダム湖や那珂川などの河川を渡ることができます。

「学習能力」…人の動きを観察し、真似をする賢さがあり、覚えが早く、一度覚えると忘れない記憶力も持っています。